

医療・介護関係者のみなさまへ

■東京都緩和ケア連携手帳とは

この手帳は、がんの診断や治療を行った病院と、在宅医、歯科医師、薬剤師、訪問看護師、その他の医療・介護スタッフが、患者さんの大切な情報を共有して、緩和ケアに関するスムーズな連携が取れるようにするためのものです。

患者さんは、この手帳を記入していくことで、ご自身の大切にしたいことや、療養の状況を確認することができます。

また、医療・介護スタッフは、コメントなどを記入することや、患者さんが書いた内容から、患者さんがどのように理解し、考えているのかを確認していくことができます。

なお、この東京都緩和ケア連携手帳は、診療録や紹介状などの代わりになるものではありません。医療機関間の情報提供はこれまでどおり、原則「診療情報提供書」等となります。



■東京都緩和ケア連携手帳の使用にあたって

1 配布対象者

緩和ケアを必要とする方を対象としていますが、手帳をお渡しする患者さん、配布時期・方法については、各施設にお任せします。

2 患者さんへの説明

以下のことについて、患者さんに説明してください。

(1) 手帳は患者さんが記入してください。

鉛筆マーク () のある項目が、患者さんが記入をする箇所です。

(2) 患者さんが記入に迷うようなことや、わからないことは、医療・介護スタッフに相談してください。

また、患者さんご本人の記入が難しいときは、ご家族等が記入していただいても結構です。

(3) 病院、在宅医、訪問看護ステーションなどにかかるときに持参して、医療・介護スタッフに確認してもらうようにしましょう。

3 医療・介護関係者の記入箇所

P. 3「連携手帳を用いた療養支援」のサイン欄、P. 19～「5 療養連絡日記」のスタッフからのアドバイス欄、P. 29「6 通信欄 (スタッフ間連絡用)」を自由にお使いいただき、患者さん、ご家族及び医療・介護スタッフのコミュニケーションにご活用ください。